

# 観光・歴史

## 来訪者数(地区別)の推移

(単位:千人)

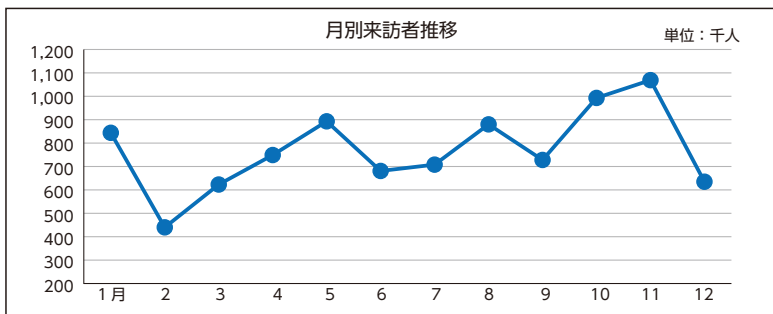
区分	総数	志賀地区	堅田地区	雄琴地区 坂本地区	浜大津地区 膳所地区	石山地区 南郷地区	瀬田地区
平成30年	13,231	1,723	712	3,023	6,125	1,021	627
平成31・令和元年	12,903	1,833	694	3,079	5,682	1,014	603
令和2年	7,563	1,358	552	1,893	2,671	751	337
3	7,364	1,457	504	1,777	2,486	726	415
4	9,244	1,569	603	2,157	3,649	795	470
令和4年1月	844	94	31	110	397	107	106
2	440	96	34	67	150	50	44
3	623	100	43	124	241	78	37
4	749	89	50	192	324	64	30
5	893	163	64	224	336	75	32
6	681	109	50	155	282	57	29
7	708	174	54	156	244	52	28
8	880	243	59	208	263	63	44
9	728	121	56	167	305	53	27
10	993	150	60	216	474	62	31
11	1,069	139	61	395	354	91	31
12	635	91	41	145	279	44	34

(注) 1. 琵琶湖大橋及び近江大橋の利用者数は含まない。

(資料:産業観光部観光振興課)

2. 志賀地区…小松・木戸・和邇・小野  
 堅田地区…葛川・伊香立・真野・堅田・仰木  
 雄琴地区…雄琴  
 坂本地区…日吉台・坂本・下阪本・唐崎・滋賀・山中比叡平  
 浜大津地区…長等・中央・逢坂・藤尾  
 膳所地区…平野・膳所・富士見  
 石山地区…晴嵐・石山  
 南郷地区…南郷・田上・大石  
 瀬田地区…瀬田・上田上の各地区である。

3. 単位未満は四捨五入してあるため、合計と内訳の数値が一致しない場合がある。



## 観光案内所利用者数の推移

(単位:人)

区 分	利 用 者 数		
	総 数	日本人 (個人)	外国人
平成30年度	190,300	181,808	8,492
平成31・令和元年度	202,200	192,466	9,734
令和2年度	110,385	109,872	513
3	119,232	118,742	490
4	166,378	163,636	2,742
令和4年4月	12,751	12,718	33
5	15,867	15,821	46
6	11,279	11,258	21
7	11,343	11,319	24
8	13,085	13,018	67
9	12,599	12,533	66
10	16,377	16,191	186
11	20,734	20,362	372
12	13,467	13,002	465
令和5年1月	10,210	9,803	407
2	10,673	10,238	435
3	17,993	17,373	620

(注) 令和2年5月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休業。

(資料: 産業観光部観光振興課)

大津市は、日本一の大きさを誇る琵琶湖、比良山や比叡山などの自然に恵まれ、これらが生み出す美しい風景と自然を、四季を通じて楽しむことができます。また、世界文化遺産の比叡山延暦寺をはじめ、三井寺や石山寺などの歴史遺産も有しており、平成15年10月には、全国で10番目の「古都」指定を受けました。



## 大津略年表

西暦	年 号	事 項
縄文	早 期	縄文土器がつくられ、石山でセタシジミなどの貝や魚をとり、狩猟をおこなう人々が暮らしはじめる（石山貝塚）
〃	晩 期	滋賀里の湖辺に集落や墓が営まれる（滋賀里遺跡）
古墳	前 期	膳所茶臼山古墳や皇子山1号古墳がつくられる
667	天智 6年	天智天皇が都を大津に移す
672	天武 元年	壬申の乱が起こり、大友皇子は敗れ、大海人皇子は都を飛鳥に移す
747	天平19年	良弁僧正、聖武天皇によって石山寺が建てられるという
788	延暦 7年	最澄が比叡山を創建（延暦寺のはじまり）
794	〃 13年	桓武天皇が古津を大津と改称
857	天安 元年	相坂（逢坂）・大石・龍華の3ヵ所に関を置く
866	貞観 8年	円珍が園城寺（三井寺）を復興する
1081	永保 元年	延暦寺衆徒が園城寺を焼き討ちし、堂舎の大半が焼失する
1180	治承 4年	以仁王・源頼政が平家追討のため挙兵、園城寺に籠る。のち、宇治で敗死
1184	元暦 元年	源範頼、源義経の軍に追われ、木曾義仲と今井兼平が栗津で敗死
1441	嘉吉 元年	坂本の馬借が、近江守護六角満綱の京都宿所を襲撃する（嘉吉の土一揆）
1468	応仁 2年	延暦寺が堅田を攻める（堅田大賈）
1571	元亀 2年	織田信長が延暦寺を焼き打ち
1575	天正 3年	織田信長の命により、山岡景隆等が瀬田橋を架ける
1586	〃 14年	この頃、坂本の城が大津に移される
1587	〃 15年	浅野長吉が大津百艘船定に5カ条の高札を与える（大津百艘船の成立）
1600	慶長 5年	関ヶ原の戦いを前に京極高次（東軍）が大津城で西軍を迎え撃つ
1601	〃 6年	この頃、大津から膳所に城が移される
1651	慶安 4年	本多俊次が膳所藩主となり、明治維新まで本多氏の世襲
1685	貞享 2年	松尾芭蕉が初めて大津を訪れる
1699	元禄12年	大津の人口17,810人、戸数は4,726戸
1771	明和 8年	大津港の着米100万俵に達する
1869	明治 2年	加賀の大聖寺藩が汽船「一番丸」を就航
1871	〃 4年	廃藩置県により市内では膳所県・佐野県などができる
1880	〃 13年	京都・大津間に鉄道開通
1882	〃 15年	大津・長浜間鉄道の湖上連絡船を就航
1889	〃 22年	大津町制が施行
1890	〃 23年	琵琶湖と京都を結ぶ疏水完工
1891	〃 24年	大津事件おこる（ロシア皇太子、京町通りで遭難）
1896	〃 29年	琵琶湖大洪水（最高水位4mに達する）
1898	〃 31年	大津町が大津市に（人口32,446人、世帯数5,826世帯、面積14.20km <sup>2</sup> ）
1902	〃 35年	県下最初の公園として長等公園を開設
1905	〃 38年	南郷洗堰が完成
1906	〃 39年	県下初の市内電話が開通
1910	〃 43年	ガス供給開始
1912	大正 元年	京都三条・札の辻間に電車開通
1914	〃 3年	浜大津・石山間に電車開通
1920	〃 9年	第1回国勢調査（人口31,456人、世帯数7,336世帯）

## 略年表（続）

西暦	年 号	事 項
1932	昭和 7年	滋賀村と合併（5月10日）人口42,364人、面積28.39km <sup>2</sup> となる
1933	// 8年	膳所・石山両町と合併（4月1日）人口69,116人、世帯数12,961世帯、面積62.48km <sup>2</sup> となる
1934	// 9年	室戸台風で、瀬田川鉄橋上の列車転覆
1936	// 11年	大津市民病院を開院（旧大津回生病院）
1941	// 16年	大津連隊区司令部の復活
1944	// 19年	膳所中、大津市女、県女などに勤労働員令
1945	// 20年	アメリカ軍が大津に進駐
1947	// 22年	警防団から消防団に組織がえ
1950	// 25年	市立大津公民館が発足
1951	// 26年	雄琴、坂本、下阪本、大石、下田上の五カ村と合併（4月1日）人口102,860人、世帯数22,292世帯、面積154.50km <sup>2</sup> となる
1956	// 31年	東海道本線電化完成
1958	// 33年	キャンパA地区返還される（現在の市民文化会館、大津市歴史博物館、大津市役所、大津商業高校などに転用）市制60周年事業行う（第1回体操祭開く、市民の歌発表、市章の改定、新大津市史の発刊など）
1961	// 36年	市民憲章の制定
1963	// 38年	住居表示整備事業に着手
1964	// 39年	琵琶湖大橋完成、市衛生処理場操業開始
1965	// 40年	木ノ岡団地起工（最初の公事業）
1966	// 41年	第2次湖面埋立工事 第1回市民体育大会開く、湖岸道路全線開通（浜大津～蛭谷）
1967	// 42年	瀬田、堅田両町と合併（4月1日）人口159,442人、世帯数45,901世帯、面積303.68km <sup>2</sup> となる、大津市役所庁舎移転（御陵町）、滋賀刑務所跡に初の公園住宅（本丸町）
1968	// 43年	びわこ大博覧会を開催、大津駅前都市改造事業本格化
1969	// 44年	瀬田駅開業、江若鉄道廃線、下水道終末処理場オープン
1970	// 45年	東海道本線複々線化完成（京都～草津）
1971	// 46年	大津市役所庁舎別館完成
1972	// 47年	びわこを美しくする運動実施、びわ湖放送（テレビ）本放送開始（4月1日）
1973	// 48年	大津市初の消防艇「おおつ」完成
1974	// 49年	国鉄湖西線開通（7月20日）、近江大橋開通（9月26日）
1975	// 50年	市民会館（4月3日）オープン、「点字広報」第1号発行、花折トンネル開通（6月9日）
1976	// 51年	大津市北部衛生プラント完成（4月20日）、県人口100万人に（7月1日）
1977	// 52年	大津市の人口20万人に（10月20日）
1978	// 53年	市制80周年事業行う（新修大津市史の発刊等）、フェノロサ来日100周年記念行事開かれる（フェノロサの遺族ら招へい）、皇子山総合運動公園陸上競技場改築完成
1979	// 54年	天然ガス転換を行う、全国高校総体皇子山陸上競技場を主会場に開催
1980	// 55年	「広報おおつ」発刊500号を迎える、「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」制定、大津市水道事業50周年と真野浄水場の通水
1981	// 56年	第36回国民体育大会開催（夏季大会9月13日～16日、秋季大会10月13日～18日）、第17回身体障害者スポーツ大会開催（10月24日～25日）、大津市立図書館オープン（11月27日）

## 略年表（続）

西暦	年 号	事 項
1982	昭和57年	ふるさと都市大津市民運動推進会議発足（2月25日）
1983	// 58年	大津クリーンセンターオープン（11月21日）
1984	// 59年	第1回世界湖沼会議開催（8月27日～31日） 湖西流域下水道浄化センター供用開始（11月1日）
1985	// 60年	窓口事務の効率化を図る住民情報オンラインシステムが稼動（2月12日） 大津市・志賀町行政事務組合一般廃棄物最終処分場が供用開始（4月1日） 勤労福祉センター「打出浜会館」オープン（5月13日）
1986	// 61年	緑の散歩道「大津絵のみち」（皇子山陸上競技場～三保ヶ崎）が完成（4月11日） 野外活動施設「比良げんき村」（旧志賀町）オープン（4月1日）
1987	// 62年	大津市ガス事業50周年
1988	// 63年	途中バイパスが開通（4月5日）、京滋バイパスが開通（8月29日）、大津市公設地方卸売市場が開設（10月5日）
1989	平成 元年	大津市の人口25万人に（3月11日） 湖西道路全線開通（坂本北IC～志賀IC）（3月23日） 大津市役所庁舎新館オープン（4月1日） 大津市・志賀町行政事務組合クリーンセンター焼却施設が供用開始（4月1日） 龍谷大学瀬田キャンパス開校（4月11日） 大津市第二南部不燃物処理地が竣工（5月26日）
1990	// 2年	大津市歴史博物館、市民文化会館が完成（3月29日） ねりんピック'90びわこ大会開催（9月29日～10月2日） 大津市歴史博物館がオープン（10月28日） 大津市総合計画基本計画-平成3年～12年度-策定（12月）
1991	// 3年	大津市・志賀町行政事務組合クリーンセンター粗大ごみ処理施設が供用開始（4月1日）
1992	// 4年	湖岸堤道路・大萱～木浜間が開通（1月30日） なぎさ公園おまつり広場が完成（4月3日） 生涯学習センターがオープン（4月10日） 和邇図書館（旧志賀町）オープン（7月1日）
1993	// 5年	大津市・志賀町行政事務組合志賀聖苑がオープン（4月1日） 北部地域文化センター、北図書館オープン（7月25日）
1994	// 6年	特別養護老人ホーム「榛原の里」オープン（4月1日） 大田廃棄物最終処分場竣工（7月17日） 大津クリーンセンター最終処分場竣工（8月8日） 比叡山延暦寺が世界文化遺産に登録（12月17日）
1995	// 7年	西大津バイパス全線開通（2月25日） 大津港に大噴水完成（3月11日） 伝統芸能会館オープン（5月20日）、長等創作展示館オープン（5月27日）
1996	// 8年	J R膳所駅の歩行者用南北連絡道路完成（3月28日） 「西大津バイパス」と「湖西道路」のドッキング開通式（4月11日） 老人保健施設「ケアセンターおおつ」完成（4月23日）
1997	// 9年	浜大津公共駐車場・スカイプラザが起工（6月23日） 瀬田公園体育館が竣工（9月6日）

## 略年表（続）

西暦	年 号	事 項
1998	平成 10年	明日都浜大津が竣工（3月26日） 市制100周年（10月1日）
2000	// 12年	旧志賀町役場新庁舎完成（2月1日）、「やまびこ総合支援センター」開設（4月1日） G8環境大臣会合（4月7日～9日）
2001	// 13年	大津市総合計画基本計画-平成13年～22年度-策定（3月） 大津市が特例市に移行（4月1日） 大津市ファミリーサポートセンターが開設（7月2日） 第9回世界湖沼会議（11月11日～16日）
2002	// 14年	柳が崎湖畔公園オープン（4月27日） 温泉保養交流施設「比良とびあ」（旧志賀町）オープン（6月1日） 大津市役所がISO14001の認証を取得（9月18日） 「広報おおつ」発刊1000号に（10月15日） 南大津大橋竣工（10月20日）
2003	// 15年	浜大津周辺歩行者デッキ「浜大津スカイクロス」竣工（2月20日） 第3回世界水フォーラム開催（3月16日～23日） 大津市交通バリアフリー基本構想を策定（3月19日） 大津市の人口30万人突破（7月29日） 大津市が全国で10番目の古都に指定（10月10日） 日本女性会議2003おおつ開催（10月17日～18日）
2004	// 16年	公的個人認証サービス開始（1月29日） 科学館プラネタリウムリニューアルオープン（3月20日） におの浜ふれあいスポーツセンターオープン（6月2日） 大津市自治会50周年記念式典（10月31日）
2005	// 17年	石山駅の広場デッキと京阪石山駅新駅舎オープン（4月1日） 世界花火大会滋賀（4月18日～22日） 湖西道路が無料開放となる（8月1日）
2006	// 18年	大津市と志賀町合併（3月20日） 大津市志賀衛生プラントが竣工（11月9日） 大津市総合計画策定（12月23日）
2007	// 19年	大津市国民保護計画施行（2月23日） 琵琶湖の境界設定による市域拡張（9月28日）
2008	// 20年	大津市と鈴鹿市が災害時相互応援協定を締結（3月25日） 市制110周年（10月1日）
2009	// 21年	おおつ光ルくん、大津市観光キャラクターに任命（2月18日） 大津市が中核市へ移行（4月1日） 動物愛護センターが竣工（8月27日）
2010	// 22年	企業局お客様センター開設（4月1日） 旧大津公会堂グランドオープン（4月23日）

## 略年表（続）

西暦	年 号	事 項
2011	平成 23年	おごと温泉観光公園オープン（2月1日） 東部子ども療育センター竣工（3月29日） 大津びわこ競輪場廃止（3月31日） 大津市「結の湖都」協働のまちづくり推進条例施行（4月1日） 市民憲章制定50周年（10月1日） 「赤ちゃんの駅」市内132カ所でスタート（10月10日）
2012	// 24年	大津市初の幼保一体化施設「やまのこひろば」竣工（3月28日） 国道161号志賀バイパス（北小松～北比良間）市道近江舞子線（市道幹1114号線）開通（12月8日）
2015	// 27年	北消防署新庁舎棟完成（1月15日） 道の駅「妹子の郷」オープン（8月4日）
2016	// 28年	北部地域総合消防防災センター運用開始（3月1日） 大津祭が国の重要無形民俗文化財に指定（3月2日） 大津市総合計画基本構想-平成29年度～40年度-策定（9月30日） JR大津駅駅舎・大津駅観光案内所リニューアルオープン（10月1日）
2017	// 29年	滋賀レイクスターズホームタウン決定セレモニー（2月4日） 膳所駅橋上駅舎および南北連絡通路完成（6月24日）
2018	// 30年	京阪電車大津線4駅名改称（3月17日） 大津市制120周年（10月1日） 第1回おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会（11月10日）
2019	// 31年 令和 元年	膳所駅北駅前広場竣工（3月13日） 近江神宮外苑公園（BRANCH PARK）オープン（11月29日） 新東部学校給食共同調理場竣工（12月24日）
2020	// 2年	全市立中学校で学校給食開始（1月9日） 100周年 第21回国勢調査実施（10月1日）
2021	// 3年	電子図書館利用サービス開始（2月1日） 新環境美化センター操業開始（7月1日） 大津駅100周年（8月1日） 大津市科学館展示ホール来館者100万人達成（8月18日）
2022	// 4年	作家今村翔吾氏が大津市文化特別賞受賞（3月22日） 外輪船ミシガン就航40周年（4月29日） 和邇図書館開館30周年（7月1日） 新北部クリーンセンター操業開始（7月1日）
2023	// 5年	三井寺の国宝「智証大師円珍関係文書典籍-日本・中国の文化交流史-」がユネスコ世界の記憶に登録が決定（5月24日） 中消防署移転新築工事に係る起工式実施（5月27日）